

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月24日
北海道美唄尚栄高等学校長

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒の社会人基礎力の醸成
- (2) 生徒の学習意欲の向上を目的とした授業改善
- (3) 保護者・地域との連携・協働及び積極的な情報発信

2 自己評価結果・学校関係者評価結果と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校教育目標 重点目標	今年度、地域の方々の本校の特色への理解を進めるため「尚栄高校フェア」を開催した。総合学科である本校の特色を生かした教育活動の推進に努めるとともに、地域と連携した取組が求められる。	学校存続のため、地域と連携した取組を更に推進することが望まれる。 職員間のコミュニケーションを密にし、学校全体で特色ある取組を進め、学校の魅力を発信するとよい。
改善方策	地域から信頼される学校づくりを更に推進するため、教職員間で学校課題を共有し、地域の教育資源の活用や、地域の諸団体等との連携を推進するとともに、本校の魅力についての発信をより充実させることが必要である。地域の方々に来校していただく機会を増やすことにより、本校への理解をより深めることが求められる。	
経営管理 校内組織	地域と連携した様々な教育活動について教員同士が互いに理解し、相互に連携することで学校の魅力化を進めることが可能となる。働き方改革は徐々に進められており、業務を効率化、平準化し、学校課題の解決に取り組みたい。	恵まれた施設、設備を十分に活用した、各系列の特色ある教育活動を進めている。 ミドルリーダーを育成し、活力ある学校づくりを進めてほしい。
改善方策	教員間のコミュニケーションをより密にし、協働体制の構築を進めるとともに、本校の充実した施設設備を活用し、より魅力的な教育活動を推進していく。校内体制において今後も、教職員の資質・能力を高めるための研修などを推進し、より一層校内体制の連携強化を図る必要がある。	
学習指導	授業改善を更に進めるため、各種研修への参加を促進するとともに、ICTの活用や探究的な学びの推進による、より一層の授業改善が必要である。 総合的な探究の時間で地域の課題について探究学習を進め、地域の方々からも一定の評価を得ることができた。	生徒に学ぶ楽しさを感じさせ、主体的に学びに向かう態度を育成するためにも授業改善は学校全体で取り組んでほしい。 総合的な探究の時間に限らず、各教科科目においても探究的な学びを進めることにより、学びのレベルアップが期待される。
改善方策	観点別学習状況の評価について更に研究を進め、学ぶ喜びを感じさせ達成感のある授業づくりを推進する。 総合学科の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを推進し、「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」の更なる充実を図る。	

生徒指導	教育相談や生徒の情報交換を定期的に行い、教育相談・特別支援委員会を通じて担任をサポートし組織的に対応することができた。 生徒同士のコミュニケーションにおける課題について個別に対応してきたが、計画的、系統的な指導のあり方を検討する必要がある。	教育相談などのサポートは引き続き学校全体で取り組んでほしい。 生徒が安心して挑戦し失敗できる環境を確保し、自己決定の場面を増やすことが生徒の成長につながる。
改善方策	年次を中心に丁寧な面談を推進するとともに、教育相談委員会や特別支援委員会を機能させ生徒理解に努める。また、生徒・保護者の理解を得られるようあらゆる機会を通じて学校の取組を丁寧に説明する必要がある。	
進路指導	総合学科の特色である「産業社会と人間」をはじめとするキャリア教育の取組によって、生徒は自分の将来について考えたり、職業観を深めたりして、進路実現につなげることができた。	地域と連携したキャリア教育により、進路決定率も高い。 大学進学者も増加している。地域や中学生に対して知らせることも大切である。
改善方策	就職希望者のみならず、上級学校への進学希望者も最終的には就職することを理解し、学校全体で地域社会に根ざしたキャリア教育を地域と連携して進めるとともに、指導の時期や方法を更に研究する。	
地域との連携	地域の関係機関の方々の協力を得て総合的な探究の時間における探究学習を進めることができた。 「尚栄高校フェア」を開催し、本校の教育活動について地域に発信する機会をもつことができた。 本校の魅力を発信するため、Web ページをリニューアルし、アクセス数も増加している。	様々な場面で地域と連携した取組が行われており、今後も更に発展させていくことにより、学校に対する理解が深まることが期待できる。 探究学習は生徒の目を地域に向けるよい機会となっている。計画的、継続的に取り組むことによって持続可能な社会づくりの主体者の育成につながる。
改善方策	探究学習について、地域との連携を更に深め、より充実したものになるよう工夫改善を進め、子どもたちの目を地域に向けられるような教育活動を推進する。 地域の方々に本校の魅力を発信し、理解を深めていただく機会として、今後も「尚栄高校フェア」を定期的に開催する。 学校 Web ページを含め、今後も情報発信の更なる充実を目指す。	
公開方法	自己評価と学校関係者評価の評価項目・評価結果を学校ホームページに掲載する。	